HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	都市社会学 : 昭和28年度特殊講義案 第4巻 第1号
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。繁華街論、都市生活共同体論、都市住民の社会関係、郊外
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77409
Type	manuscript
File Information	N004_01S28.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

NOTE BOOK

都市社會學

二十八年度
特殊講義案
第四卷第一号

繁華街論、都市地域的同化論
都市住民の社會關係
郊外

本ノートの内容

第三章 第九節の一 繁華街、其他（都市内のオルガンのサービス）（センター）

第八節 都市住民の移動（生活協同体論）

第九節 同体

第十節の一 即ち（生活協同体決定調査項目表、第四巻、第二号に）

第十節　都市教育
1、都市教育（学校）と学ぶゆく都市（市施）
2、都市学校（隣接学校）（都市生活の時空的純隔）
3、デパートと美術（未来都市）
4　都市住民の一代（平均人）
5、計画都市と移動都市

第九節
15政策綱領
北大学文の居住形式
16ヘラ尾と美尾（中央市外と市営の社会）

第三章
第八節（都市住民の社会性）
（都市の内外に広がる）
第九節　各地社会の成長
群集、統計集団、組織
1、都市勢力圏（一的）
2、通勤通学圏（帯広九州北陸）
3、通婚圏（右今帝国、文化圏）
（居住様式生態学的）
4　歩行者（サラリーマン族）
5　田舎出生地（浮浪者群）
6　繁華街（娯楽街、中心街、商店街）
7　住居の類型（札幌地区）
8　都市の発達（職住分離の時空的三種色分け都市地図）
9　帝都帝国の首都群（市外の市）
10　都市の社会成長（学会会員の帝国製鋼）
11　都市の障害（地と夜）
12　商店街組合
13　郊外地（都市周辺地帯）
14　都市の人口構成と活動

都市内の大小様々のサービスセンター

第三章 第九節 6 教育等施設

都市には元々住の中心街まち又市内の各地域ごとの地域中心街がある。これらの中心街は周囲の住宅にサービスセンターとなる一種のコミュニティを形成してゆく。これらのコミュニティーは都市内に多数のかくのめぐらされた道路網によってつながる。又クイーンからなるアーバンコミュニティーとそのものはもと大規模の町村で市内への近郊拡大によって市内に

う込んでまた様なところである。
たしかに市内の大中わの中心付はそれぞれ
大中わのサービスセンターとしてのソレートエリアを
形成しからのまちエリアが市内を繋つかに
細分してたいと思けれいうもる実である。
然しそれはつまりスプロールとでいわいであろうか。
私なこと、高梁北、生活共同体と地
域北分、こころチャーの活性化をはかん
しても思い出である。
生活御同体とは何か。高梁の基盤の
上に形成されへ介しは活動同体を高梁北分と
呼ぶ。高梁北分とは次の様な分である。

人は土地に固定して居るが、人の
生活の活動は似てゐるが人は動せず
今より土地にはまつて生活して行くことのは
今現代人間は社会の基へ向へ向かう
恐らく次の私の主張するのがようでしょうと
人は革新の中に生み落され、人の
その為の為に革新の成長発展して行くの
で革新に下史を思い拡大して来た。古い
に喜ぶ人や損した人が新しい
革新をつくりそれ程はやることの
スポイトして思ふくら
革新の人々は、日々の生活は大抵を

1 小売店 卸売店
2 デパート
3 事務所の消費生活協同組合

1 独立商店
2 商店群落
3 商店街
4 市場(マーケット)
5 デパート
6 事務所
7 行商人
8 露店商

の事務所の他の人々とお互いに
な
交
的な接をもち、話術によって
しだいに一般的に仕事の協
めくるめく利用し合った、
なく対
貨幣をかへたりしたりなんかする時
生活を協力し合ってゆくこと
多数協力し合うのは事務所
の人々である。事務所の人々同志は
私の生活の人もまり対立的な人もあるが、
然し殆ど事務所の私は結果的には
協力してゆくの人々である。事務所が異なり

地位が高くて同格の仲間まであつか
われるにはたえがたい名前がある
格なしのである。その事務員のH氏
宮みはるの大佐
その人々のH氏の生活によっておま
よっても。それが生活協同体であ
る。事務員は生活しない人間は大佐と
の生活では事務員の人々の方丈もてや
うな(ママ)くるかぎりこれから事務員の
移転しても生活協同体があ
る。
恐らくこれ以後の人間の事務員なしには
技師(ママ)丈であったであろう。そこで

当分の間これを先住民に限定されたところが何かの形で加えられ、おそらくは先住民を登録をもって差別をなくし、広くその居住地域に独立ハザードにする人々が協力をもって地方の生活の協力を図るべきである。

しかしはそこに住むおとなくかくのめる有村落をその傘下におくに至ったところもあるであろう。古代の邪馬台的併合の発展、そこより政治の発展があったと思う。

何ともそこは思おこない村落となったとはる実であります。それは都市の論文を

思ひます。

春先に卵が出またはいる前の頃は政治的接
多くと工人つみ位み家人は兵なかつた
。あとになつて東京の米が手に入るれ
はこれは農家てある。すみついた家人が
出まるのはよほどそとつてある。
農家のお活が社会の生活で満足れ
ることは他は社会生活関係を
つくてゐる。ゆゐの生活向上し都会の
生活を望人に帰へすれ家の
の田舎の家の関係を捨して行く。田舎
叶から帰へするよう望ましくなつ
ね

田舎その変化もにはは決定なく
なると先決問題は村落、つはなし
その田舎即し合めめ加かはならなく。
事故記録しかくのめきこつの事故いろん
かつよをおへなくはおたくなくなった。
その国伝を出村の村つくりの好めめ
それ高んのホへ伝らかえのお手伝のラーハン
つこつこティーてす。ラーハンつこつティーに
おける仏れの出家に教育的つまの
基本回報的に見かはセンターをとりな
く教育的出家の一部は一つの事故と
公なしそれ有する教育的社一と事故

みなさんこんにちは。ラーハンつまり
ラーにおけるイスラエルにおける活
動家、。
都市の中にあります中小(すこしくらいの)
まるの団地の住民はほとんどが
いろいろな(多くの)女性や団体をその中
にもっています。中小都市はほとんどの住民
が知り合いではない。色んの都道府県
場所の中に流れ込んでいる。いろんの思想
行動的価値の中にもなる。この一回の
地域の改革に形成されるべきである
団体と名づけないであろうか。

人はその家団体ごとの生活領域を広げ
か。また生活協同体はねらいの生
活空間の範域です」。ねらいを活かこの範域
の人々と一緒に生活することをねらう
協同体と定義することができます」。
ねらいの活動をより豊かに展開を含みもつ。一
団地一生協二団地一生協という
ように生活協同体の範域を広げ
ていくことは、ねらいの活動をいっそう豊かにつ
くりあげていくことにつながります。他のセンターとの協力もあります。色々の
ケースがあってよいと思います。生活協同体

おけよ同なも私との同じ一致に
一線を劃しおり、なお他のものとはなし。
又或る中小都市センターとも地区の
各戸多くが同好の同なお沢山はなて
それ共同作的同なお足らんおりそれ
いわゆる私立のもっである。
この中小都市それ婦同作は一統の社会
同なと全然代
同なとすすて都市の社会構造
とは全く異っている。スクールにまでこれらしよ
りもっと重要なことについてはあま
それ婦同作と立」には少しくその共同の
種目おけ、後教えおけてみるとする。

的な共同会館であって生活協同組合とは云い難い。
部落は村落と部落会活動協同体であって、コミュニティーや中心御協同体は協同組合です。

世田谷区の区民高齢者物価を定めると共に区民は大部分区内の商店を利用して下さる事が多い。観光や行楽地は元より生産者を含めた消費者である。

大阪の中心街の交通人混みはその一区域内の人々であったと思った。（都市問題研究）

札幌タクシー料金は東京23区内は二十人の内八割迄乗れたかと思ったら五十年生内の人口であった。

「大都市における近隣の研究」
「社会学評論」一六巻 参照

都市住民流動性の社会関係
に及ぼす影響

未知の社会関係のほす影響

都市の一家族の人々が社会の主要な
方向のみに接触する人々は如何
なる社会関係をもつか

家族
仕事
娯楽
教育

について

主人
主婦
子供
老人

の各」が指導する人々は毎日毎回毎月毎年
の時間を交際の借先、勤先、世間等
の各々と同一都市内の同一地区の
所と同一市内の友人、同一市内の勤先
から成る。医師も葉も大体同一市内
ら同

地区
住宅新築は大体九割は同一都市
同一地区内都市中心部
方は主人夫妻についてである。その人の
職的又は同一地区ではあるが大体
同一市内、近隣又は同
す地域
子供などの生活圏は大体同一地区内
人はしっとせない。
都市住民が
都市は昭同一都市圏内で
私生活比較的
多い。
のは同じ都市圏内
はそうでない人は意外に多い
とは限らない。
のが都市住宅地区の
同じである。
別に他を利用しなければならないもの
おおむね意くらい人が
水は飲むなければ十分ならない

郵券は
交易的な
打算の根據

引き出しなどの中のあてあるか、金さへ出せば
買ってもらえるのは政府さへ承知
のつ郵券。
人郵券の人はなるべくは打算のない
人と接觸します。金銭に人を接觸す
るのキラつてある。学銭を一つに集てす
飽てあるか、金銭を一つに集てす
る必要もない。おろかにキップを捕ら
ことはこの次郵券のつぎ合です。
学校の先生も月給をとり学俸も
お布施をとる。それで平均を取て
生活します。金銭をもよをキッパリと
他人とをはり分け合ってみるの
が郵券民ではないか。
又郵券、大死死火が安心出来
たり、こんな国だから大抵助さん
場合されこのではない。えらを言う
てくれよ高人は金さへ出せはそうを
くれよ抱助えではないか。郵を

都市の
ゆらぎと
外部

都市の内部と外部

数である。二つの生活物語は

凡そ人間生活の両極端を示すかなり対照的な印象を

かもし出すのイロ段と大都市の盛り場の

街頭であらう。

郊外の特に労働者の住む町。都市の

生活の指図は盛り場の街頭である。

それよりもむしろ都市生活の印象は

都市住民の社会関係は仕人的で一面的で一時的であるところのすべてである。

盛り場の街頭に於ける人と人の関係は

正にその通りであるといへやう。

けれどもそれは都市生活のほんの一面であって都市に住する大多数の人

人の営みよりもっと単調なしっそうましやかな生活のうるみを忘れてはならぬ。

ささやかな表通りや高尚な奢侈な大邸宅

街ではなく貧民的な中小市民の住宅街に足を入れて見よ。そこにこそ

都市の隠れた音に困おっくしい生活しい声。

何の飾りも装飾もない都市大衆の生活が見られるであろう。そこは都市を見物に来た外来者達には全く用のないところである。

都市の不良と好戦心

成る程我都市の繁栄は外国からお越し賞狩れなど。
なるには生産の国をぬくとるの恐るべきものあり。
ヤキン若切の不良がうようよしている。それでいて
しかも人なの不良は都市の一般人民にはなんの
脅威をあたえるのではない。それは全然別の
型の物や迷惑を絶えず与えつつあるが都市
民大衆の多数の絶対におけるまではない。
けれども大衆位定約に空常からも抑しつけられ
ているのである。よくしたがしかし殺人
ちいのようなもの。名古屋には一人もよく
やってまう。日本に見られる多数の人が性悪であるか
中には不良もあるとみて、都市の人
は自からなる人的に好戦的になる。人かるへ
のでみるも積極的でなく消極的になる。
男おて被害は自分で主張しないでいる人が
世話してくれるし義務は人の口からうるさいって
自から積極的に行なう。都市ではその名前
である。自分の為に物を世話してくれる他人し
なない。他人にして立かは多数人に対して一方
世話かえまり望めない。ねるをましたくてもし
ないた人がうまくかよのって自分の為さなっ
すいなる。自分は自分丈けで精一杯人に

人口の大なる

政都なる

お世辞にもなろうとは思はないお世辞もしない。
それは都会生活の複雑な人の集合する
生活の中に自ら生まれて来たことであり。
好意をなさるべき人の私かに切りなきまでし
希望すべきはもちろんかねばつかぬかの切りがあるので好意も
排斥はいなるものでもよろしくなお
自らそれを生じて来る。
都会の人の交際の一分的なるものも、多数
同一の場所に集合するものにおいて
しかいし職業や地位や名誉の差別
がおのずからそこに生ずる。我の国人等を
多く都会に集まり住んでいる。
無名は都会では不都合である。名刺を
差すにも名刺を出すのが都会である。
世のたうすくなるしをする。世おの人から
それはそれは人ごみ私交すべき仲である。
先方から好物があった時には贈物と同一
金額のものをおくるとするなどは私なってます。
故には故郷すべき人が困窮しまたは
ら良思慕の念は仕回収はなかなかむずかしくて
ものはない。
政治都会の人の交際が仏人ねとるの

も生活のる情が自ら生じよう。第三
や権力としての身分がなしもないが以上身
分は、北方なものではない。仏人の対する
評価はすべて仏人に於ける彼らの方
の優である。家や門戸は仏人では
なく方である。多数人を相手にする商
売をしては北方なれば方ではない。身分を
仏人のように考慮してやるようはない。
て支那人では大体その形になっていた
ては幾多家やつ洞が、それへ「ふ」のは
ないし同じくして共に称する。
けれども同じなのは都市において大多数の
貧民のごとき各自に貧民になるよう
仏国が有しているまた貧民には
文化面の方が多けれども
思われるが、然しそれは少くとも家屋同様
の財力が北方同様に也吉林同様のこと
までも物質よりもものであろうと云える。

仏人の

都市民の移動が一面的で全人物的でなへ
ところより都市生活において人が多数
人を相手に接触しつつよ

交りの一面的

であるの如きは未だ人格的に交はるの一面にすぎない。不一致は他面に於ける不一致を意味する。けれども初めから一致を予期するは未だ一面に於ける交はりである。故に他面に於ける交はりを予期しないのである。初めから全人格的に交はるのは甲の同性の人々、乙の同性の人々と云ふ如く一群の人々に対してである。人格は各自異なるが故に人の数だけ異つて来る。人格の交はりは多数の人々に対して異つて来る。かくて一人の大衆に接する人は皆多少とも一面的に交はるのである。一面的な交はりの内に含まれる如くに力を入れ合ふ如く深く交はるかもしれません。心の奥の奥まで触れ合ひ、交はり合ふと云へる人も批判し合ひ攻撃し合ふ如く、自から接触は多く多面的に交はるのである。甘いも酸いも知つて尚且つそれにすねもしないで善悪を超越した様な生活を市民の成人が出来るのはどんな環境からでせう。

やはり比較的都会の生活が一番多く軽快に思

都市人の
生活基盤
財
第五

子を考えるとしても困める。なおしその子
約束を取かわしくよりしばらくしばらく
あろう。
生まれの色々の子供の為に色んの生
活の型があるのをおそのに認めあい、全う
立ち下って一家の秩序そのそうとともし
ないし又知らせ報をしないのが市民
であります。全く知らんかたくない子が自分の
一家にも他の人の一家にもあるであろう
と家として一度考えて見ますると
かの都会人の工ケゲについて。たかが
よう市民はこの家
家が培地住宅利生活団結的
あるのを見ては皆民には団結しにくく
しまおまのでしょう。
かくて都市民は最小限度の必要な都市
生を相互に申し合って相互に幸福に暮
そんなかったら交はって行く。最近非常に
活報はてあって、隣家を好した私共は
田舎的でいる事を感
んな不便の報があるかと知かあることを心に
銘じて知って行く。然し過

範囲内の交際はすべて回に絞り
財に余裕のない。未知の人
との初対面は特殊な世のお人かみ
によくないのはしないことに
なんでしゃろそよの少野人純になり
ぬ行いと思わ。田舎のおかしさ
まで旅の恥はかきすてのそばから
おうかもなへ行いをする郷北のなを
少しつうもせぬと共田舎者の気位は
しないけれ曲とれ又おさな義人の
好な敵対の行いもせぬ。自ら行動
するは人まらないか、よく地理を知らない
異国とユーモアが郷人の知識であ
る。郷人とはそんな人が上まわって
好な交際をしていると言う事。
交際をもっと丸く知人や友人との交
の交ぎり丈ではなく異性の中にも
同性にもその人との間柄のなおの交遊
との交際も近隣の人物位の人に
対する交際等であります。

都市の周辺

一 郊外について

レ 不定な地域をめぐる問題 要件 P384

レ 郊外型の別荘 P386

レ 郊外は暮し安い P388

レ こんな事例も

卸売市場の店舗 P397

レ 交通機関と都市発展の事例 P373

レ 郊外とは暮し住宅地か P390

レ 工場用郊外型社会はないか

レ 郊外は都市の人口膨脹の為 P359

レ 事例の四つの郊外圏 P360

レ 郊外は大都市百万以上に大きい P365

都市宅地としての郊外 P354

荒廃地の問題

都市の周辺

郊外は都市の人口膨張に伴い都市の市域の外部に押し出された人口によって形成されるようになった都市の周辺に形成された（巨）百万以下の都市（位の）

（よって）

（市域から）

（郊外には）新しいものと古い人もある。又郊外には工場の為に伴っておこる工場郊外と学校の設立に伴う学校郊外とがある。

（1930）

とか目をつけ労働者人口が多いと共に郊外に住まう住宅の郊外の目的を本来の郊外とする人もある。

郊外が都市人口の膨張のために都市の外周に形成されるほど生活形態を

ないような人にの生活形態に欠けた点
であるようには思えるが、それが特に巨大都
市にのみ見られる特殊な事とは思はない。
人口密度が低い大半の他の都市
にも通じ得ることであるが、一般に
都市とよばれる語は巨大都市の場合のみに
いうのであるならば、凡ゆる都市の周辺に
常に見られる特殊な周辺都市を活動
範囲を一つの同心円と考えるならばあたし
その半径も五マイル位であろう。私は今こ
こではその点について都市の周辺と云う語
によって都市の周辺部に常に見られる

のうち発表を考慮しておいた。

東京都の場合には都市の人口膨張が市域の外に形成された四回次ぎく郊外圏を作って行ったとみられる。第二回目の郊外が形成されたのは第一回目の郊外に匹敵する市域に含まれてきたことである。三回目四回目についても同様である。二次にわたる郊外は幸い計画的な発展をしてきている。かくのごとき発展をなしたのは東京人口増加率の高い一区大都市の特徴

てあるが、何社かの協力の下でやっている。
んな都市にもない特徴はなく、又都市
にか同じでもう同様に都市の外周も
は殊なつくりをもつ所(住宅)ない場合
かの移転が停止している。移転都市について
周辺はやはり同じである。
已む都市の場合には郊外には三つの段階
がある。在来の農村的居住の(文化の)中にお来
の都市よりの人口がもつ文化が(順)従
てきは期、次に両者が拮抗する其時期、
最初に都市文化が在来のそれを
を経て、その他徐に置き換る時期である。
(386)

このように原始の御かしきは同じである。その
社会には都市の人に培かれ伴も現今ではなく
思想が都市と交流する社会におこる都
市化の同じである。かくて都市の人が好か
空が停止し都市がその外周の思
想に交流を与え都市化の波を及ぼし
行く政治は広くあり、また都市
の周辺部のおにはその影響が特
著しいので、都市の周辺部には都市の
政治的な押しおよぼす人口にはなく、四
周のそれよう押し寄せてまた都市的な理
の年都市的な社会形態をとる。

須田君の青森市の印象を挿入

新市の外周には外のネオンサインなどは全くなく、静かな感じがする。

静かな街の感じは、市役所と新市役所との間の新市役所前の広場の中にも感じられる。

この広場と同じく都心から市域外への各方面に向かう道路に好感をもつ。青森市の印象は次の通りである。（須田君の挿入終）

この大都市の市外の印象はみ出ていない人口の印象を新しく感じるならばこれは新市の四周から都市に続く新しい都市と一つとなる新村とでも

新市の外周には外のネオンサインなどは全くなく、静かな感じがする。

のそうである。

巨大都市の郊外の社会、郊外とは云は市域の人の寝室である。社会化都郊外のみを郊外と云う社会には寝室郊外がある。市民のこの生活依存の基本的なのをうしなう。日常生活の全要求を郊外内に依存しなければならない。月給収入の大部分を市内から得る。勤めるうちは市内で活動するが、勤めをやめると郊外の家に引こもる。郊外の家には女中と猫と犬が留守をしている。

先生の依存心には常々は不安な
ものを感じておったが、その内つぎつぎと
立ち去られるとは。空向きな巨者かも
しれぬ。真夜中断絶したような鎌倉に
取り残された依存心からは事あるの如く
とらえるとは奥井氏はいう事。
同様なことは都市化の最も進んだ都
市についてもいえるね。都会の協会でも
都市化の最も進んだところでは先生の依存
心は強い。
先生の依存心を言いかけるは協力かどうか
あるうちは依存心を持つ先生なしでは
その人は

こんなに、まで来て、けみたし男し
こさうてあらうか。生活環境の
なかなかこれと検うまかけが
ないため。
巨大都市の郊外、衛星都市
治安がそんなにみだれないう安全な
であろうか。
世田谷区の区を望むと、全数の高いしのは
殺人や強姦事件、ホームレスの帝の
巣や野菜や筒等を家宝とは比べその
最寄り駅で世田谷区内の他区の駅で降
ホームレスが多い。世田谷区内にはそん

なわさな高台街は三十七ヶ所あり。林立高
底はこの外にこの位あるかは知るはつかた。
二水は世田谷区内の事であって郊外には
こへないか、而し郊外他にもいくら高台底
街地区高底は弘と仮定が発生する
と同時に私はかつてはなかったであろうか。
そしてその住宅地は階の住宅や教室は
勿論そこで求めるのか大部分になるのであ
うか。人口の生活圏は変わらないものであ
一町二町の区画かねが立つかつかれしめる
ものよ私んなるので、生活りはこの地区は私
め込んでいる所で不満足なから求めるの

つなぐであろうか。

郊外についても、そこに引き込まれる郊外住宅地が大都市となる同様にやはりそこを通過する汽車や電車の駅などを必要とするのではないであろうか。

高層建築の住宅地、郊外電車沿線の駅近くの商店街などの発展。

等々考えて来ると、殆ど全く同じ一つの事柄をかけ離れた二つの地点から見ているに過ぎないのではないか。

郊外の人も生活圏としての都市に於ける

して行こうという意味で市民に依頼するのは当然であります。

郊外には緑多い家庭生活というものがあります。鎌倉には鎌倉の生活協同体、かねしろには協同体への加入決定の手続き同じである。生活の実践をとおしての生活協同体へのつながりである。子宝生活の実践が二十万にも人もあるであろう。私たちは本質的な団体を見定めた人としての生活の形についてを考えます。

工協郊外もあってよいと思う。工協の連絡

が郊外にあらわれ、そこで働く人々の即ちそこを職場とする人々が大部分生活協同体に属するなら、その職場は生活協同体に属するとも。たとえその所有者が生活協同体に属しない場合的所属は生活協同体である。都市は一つの生活協同体、その外郭は月給生の住宅により囲める。職場はどこにあろうとも同じだ。そこで働く人々がその生活協同体に属しかつ同じ日々を生活協同体の一時居留地は移動する人が大部分住みの生活協同体に属するから

よって決定される。それはそれぞれの家庭
から、インターホーンによって一定の手続きの後、
同じく好きな時刻を定めて訪問することが
決定の場合も同じである。
自分が部屋は都市の隣居の隣近の
部屋のあるところであって、市内に職場に毎日
かよってくる人々、あのラッシュアワーの電車
にあって毎日～往る人々の居住地帯であるとも
つ性よりは、都市への依存度の甚だしい(人々の居住地帯で)
ものを除いた部分をいう。そこで通勤圏と通学圏が都市
の近郊としての都市の部分をしめる。

思われる通勤通学などはそれぐらいの距離の
なしとげる生活協同体が形成されよう。郊外
はそれ以前には完全に独立した生活協同体
を形成していたが、漸次都市の生活協同
体の吸収されて、市内の各地域と
商店街が市内の島の様に各地にあり、
ここにデパートを作って中心を同様に郊外も
市内の一つの島であり。大都市の郊外に
は島は四方に形成されそれを連絡
と市内を中心とした円をなしている
おうう。円周の方向に副都心的発展の
都市が、あり。郊外は市の一つの島としての

世田谷区内商業地域利用状況調査

本区の振興対策のうえから、区民住意生活の地域的実態を調査する必要があることはもとよりとなっておりますが、未だその調査をおこなわれずにおりましたので、去る昭和三十二年四月を指定して二十分の一抽出による区民居住意識とその家族構成、職業、収入状況の自計調査を実施しかつ各町丁目別の居住職業者をキントレこれを分析する目的で人口世帯調査員を各町丁目ごとに配置して、別紙調査票を配布し次の要領で調査することとしました。その結果とこの調査の概要は次のとおりであります。

一、調査地域

調査地域は、本区の商業地域のうち、駅周辺の商店街を中心に、商業地域に指定されている地域の全部であります。

二、調査対象

調査対象は、調査地域内の全世帯であります。

三、調査方法

調査方法は、調査員が各世帯を訪問し、調査票に記入してもらう方法であります。

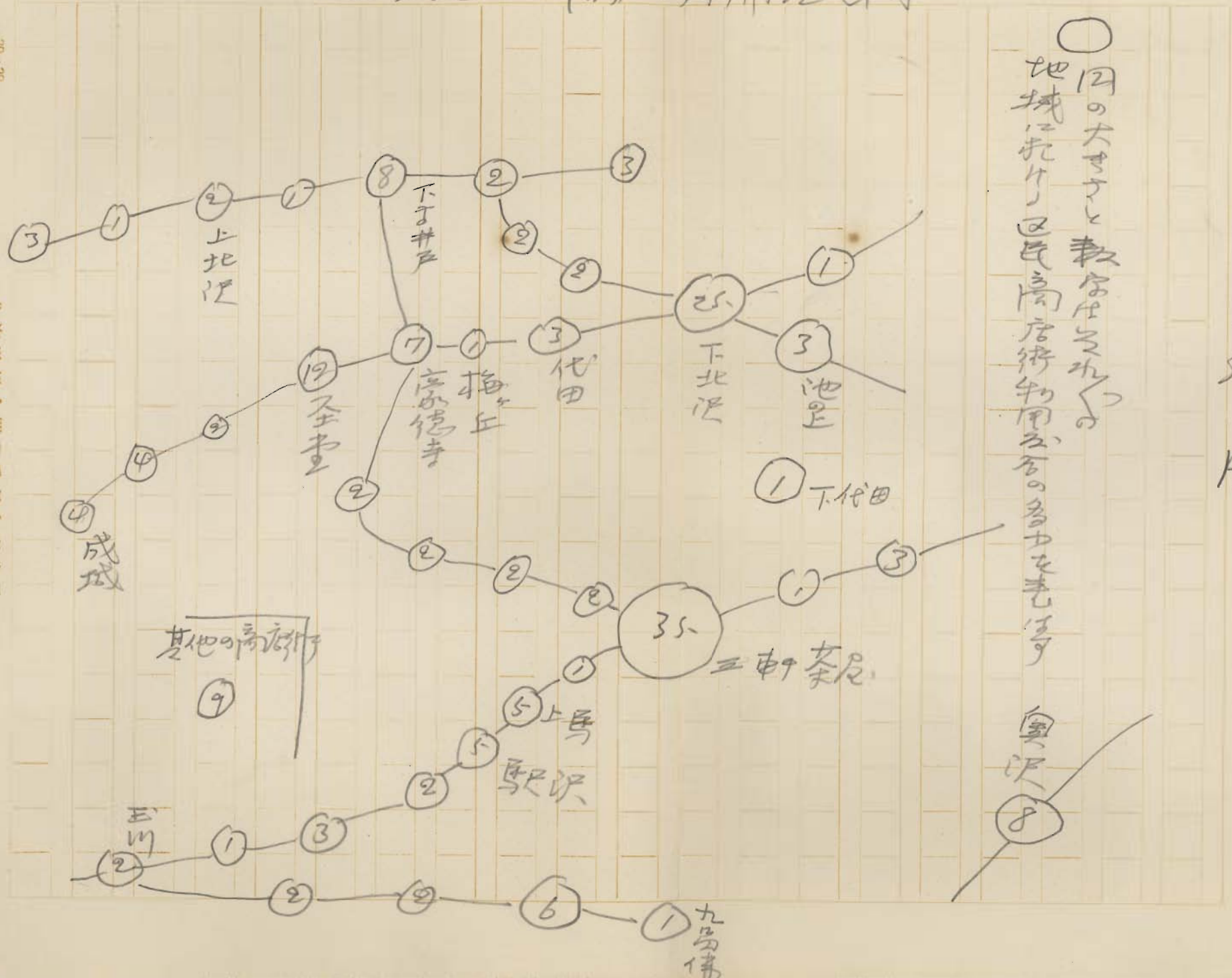
四、調査期日

調査期日は、昭和三十二年四月一日であります。

五、調査結果の概要

調査結果の概要は、次のとおりであります。

世田谷区区内高度術物用途流図



○印の大きさと数字はそれぞれの地域に於ける区民高度術物用途の多少を表す

裏面へ続く P.2

20×20
北海道総合開発委員会事務局

また区外高等地域別の委任状は同意
にするために決定、対策14日地下江6.20定
3日午後4時より北4会計51で行うが、区民
総括説明、私の33.29%程度・一区外
決れていることは下のです。
なほ区外では他の同意にうまく投し
て高価なものを買う機会をつかむ、
洞爺湖会議を満喫会議にならない
ようにその比率は大きくなるも予想せぬ。

[illegible] 仕事の区分会計
[illegible] 札幌市北区北24条西3丁目4番地
区内 011-716-5555-59

生活物資当日別地番北洋内外比較同意
ソ菜乳地料乳鮮魚乳肉乳果実乳甘味
当札のやうな活発物資は国売
まで通り移と区内の高度で時のせられ区外
の高度で時の才、保数は今の約倍か